

オープンキャンパス(2回目)を開催しました

8月19～21日、農業大学校への入学希望者とその保護者を対象に、本校に対する理解を深めてもらうため、本年度2回目のオープンキャンパスを実施しました。

8月21日の「1日体験入学」は、県内外から19名の学生と12名の保護者の方の参加がありました。午前中に学校紹介、校内見学を行った後、本校食堂で、カレーライス、サラダ、デザートの日食をしっかりとって、午後からの実習にそなえてもらいました。

午後からは、希望のコースに別れ、「野菜」では、トマトの糖酸度調査、パプリカの整枝、「果樹」では、なしの収穫・選別、「畜産」は子牛の哺乳や子豚の体重測定、牛舎の清掃作業等さまざまな体験をしてもらいました。〈写真：体験実習の様子〉



「資料や高校での説明ではわからない点が多々あったが、今回の一日体験でいろいろな事が分かり良かった。」「在校生から実際の実習の内容を聞いて大変参考になった」という感想が聞かれました。また、「初めて豚に触れ、意外に毛が硬かったことや子豚の鳴き声が予想以上にすごかったこと等びっくりすることもあったが、とても楽しく実習できた。」「子牛のミルクづくりは初めてで、子牛の飲む勢いにはびっくりしたが、とてもかわいかった」など、今回の体験では子牛や子豚の体験実習が大人気でした。

今年度オープンキャンパスでは2回の1日体験と4日間の学校見学会で、のべ56名の参加者がありました。今後の進路の参考にしてもらい、岐阜県農業の未来を担う学生が増えてくれることを願いながらオープンキャンパスを終了しました。